

「てん刻」の指導手順

準備物一覧

★交流の家準備物

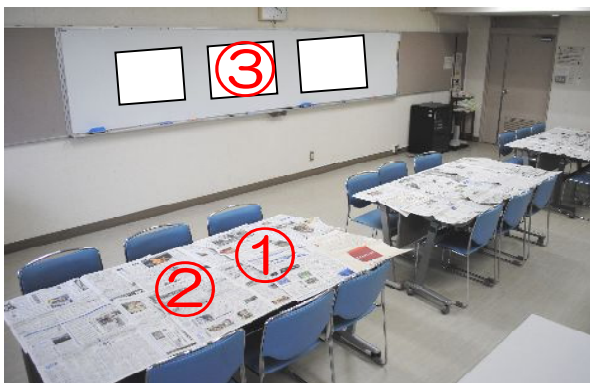
- ①印材（高麗石）【人数分】
- ②説明書【人数分】
- ③トレーシングペーパー【人数分】
- ④サンドペーパー【人数分】
- ⑤彫刻等（大・小）【各人数分】
- ⑥朱肉【3～5個】
- ⑦見本【必要数】
- ⑧指導手順・説明用資料【各1部】
- ⑨サンプル画【必要数】
- ⑩ぞうきん【必要数】
- ⑪ゴミ袋【必要数】

★団体準備物

新聞紙、2B鉛筆、消しゴム、（彫刻刀は200名以上の場合、不足分を持参）

指導内容

0. 会場を準備する



- ①机・椅子をレイアウトする。
（向かい合わせなど）
- ②新聞紙を机の上にしき、机が汚れないようにする。
- ③説明用資料をホワイトボードに貼る。

1. 道具を机の上に準備する



- ①印材（3 cm×3 cm×5 cm）、②トレーシングペーパー、③彫刻刀【小】、④彫刻刀【大】を人数分配布する。（サンドペーパーは、失敗時に、表面を平らにする為に使用する。各机に配布する必要はない。）

2. 彫る文字などをトレーシングペーパーにかく



印面の基本的な彫り方

【陰刻】

絹

文字を彫りま
す。輪郭も入れ
ましょう。

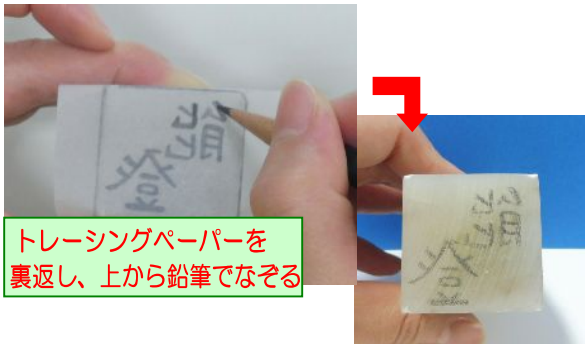
【陽刻】

福

文字の周りを彫
ります。ふちは
残しましょう。

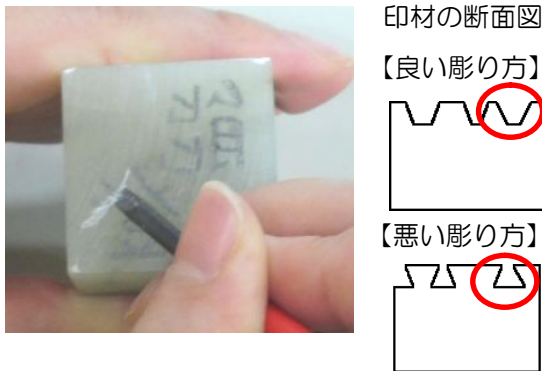
- ①彫る文字や模様を考える。
- ②トレーシングペーパーの中央にかく。
陰刻、陽刻どちらにするかも考える。

3. 文字を印面に写す



- ①下書きしたトレーシングペーパーを裏返して印面に当てる。
- ②鉛筆で文字をなぞる。

4. 彫刻刀で彫る



- ①写った文字を彫刻刀で彫る。
- ②失敗した場合は、サンドペーパーでけずり、やり直す。

注意

- 彫るときは、まず文字の輪郭から彫るようにする。
- 彫った文字のへりが破損しやすいので、右の図の【良い彫り方】のように、外側に斜めになるように彫る。
- ケガをしないよう、注意する。（彫刻刀を人に向けてたりしない。）

5. 完成



- ①彫り終わったら、印材を水で洗い、朱肉をつけて、試しに押してみる。
- ②時間に余裕がある場合は、手で持つところを自由に彫ってみる。

6. 片付け・掃除をする

- ①道具を整理して片付ける。
- ②ゴミはゴミ袋へ捨てる。
- ③机・椅子を元どおりに戻す。
- ④床をモップや掃除機できれいにし、机の上をぞうきんでふく。
- ⑤片付けた道具を教材室の机の上へ戻す。
- ⑥活動で出たゴミは事務室へ持ってくる。